



AMSR2 L1 プロダクト (輝度温度) 新バージョンリリースについて

平成 28 年 8 月 18 日
宇宙航空研究開発機構

平成 28 年 8 月 23 日より AMSR2 L1 (輝度温度) プロダクトについて、バージョン 2.220.220(以下、Ver2.2)をリリースいたします。今回のバージョンアップでは、L1 アルゴリズム自体に変更はないため、輝度温度の値に変更はありません。また、プロダクトの精度などへの影響もありません。

本バージョンアップに伴う主な変更点は以下の通りです。

(1) RFI フラグ

現バージョン(Ver2.1)では正しい RFI フラグの値が格納されていませんでした。今回のバージョンアップで本来の値が正しく格納されるように修正されます。

(2) ファイル名(グラニューール ID)のバージョン情報変更

L1 と L3 輝度温度プロダクトのみ、ファイル名に含まれるバージョン情報を「2220220」に変更します。

例：

(旧) GW1AM2_201608010046_189D_L1SGBTBR_2210210.h5

(新) GW1AM2_201608010046_189D_L1SGBTBR_2220220.h5

◆ 新バージョンプロダクトの提供について

新バージョンは、平成 28 年 8 月 23 日 (UT) に GCOM-W1 データ提供サービスより提供開始いたします。但し、正確なバージョン切り替え時刻には不確実性があることをご容赦下さい。GCOM-W1 データ提供サービスの SFTP においては、新バージョンプロダクトは現在の提供フォルダと同じ場所に格納されます。再処理期間中は一時的に同じフォルダ内に、バージョン 2.220.220 とバージョン 2.210.210 が混在しますが、バージョン 2.220.220 が最新のプロダクトです。

例：/prd/standard/AMSR2/2016/2016.08/L1/L1B /2

なお、バージョン切り替え時、プロダクトの提供停止は発生しません。

◆ 過去の観測データ再処理について

平成 28 年 8 月 23 日 (UT) 以前観測分のデータに関しては、上記変更に伴う再処理を実施し、順次、GCOM-W1 データ提供サービスより提供いたします。(2016 年度中に完了予定。)

なお、高次物理量プロダクトについては今回の L1 輝度温度プロダクトの変更は影響がないため、再処理の対象外とさせていただきます。

